

解雇者復職承認ニ難色アリ目下交渉繼續中
右及中(通)報復也

別紙 要 示 書

今日エビス電球株式会社大森工場硝子産業労働組合副会長後業員大森幸項より要求致シマス今由答
生セル事得内滿解決ヲ希望シマス

条 項

- 一 日本労働總同盟関東電球硝子産業労働組合ヲ承認セシメ後シ
- 二 解雇者五名即ち後復職セシメラレ度シ
- 三 解雇後手着制ヲ設定セラレ度シ
- 四 次方工工後差別ヲ撤廃セラレ度シ
- 五 準備工年二回昇給ヲセシメ度シ
- 六 今由より係三輩ニテ後對ニ犠牲者ヲ出サシムコト

兼早中林硝子産業労働組合
エビス電球硝子産業労働組合
今由報復也

エビス電球大森工場 爭議に對する聲明

我組合と業主團體東京バルブ會とは産業報國の精神に基き、團體協約を締結して勞資産業協力の實を擧ぐべく両者互ひに努力しつゝあるのであります。

然るにエビス電球株式会社代表者坂倉幸利は僅かの感情の爲めに之に反對し、串劣にも業界擾亂並に従業員の組合破壊を策し、去る二十四日従業員に信頼厚き古谷工場長が本社轉勤に際し、その留任運動をなせるを表面の理由として、高級従業員五名の解雇をなし來つたのであります。

我等は以前より、彼坂倉幸利が、全部のバルブ工場主が労働組合を認め團體協約を締結し、勞資産業協力の實を擧りつゝある中に、獨り反對しつゝあつた事實を發見し來たのであるが今回計らざる前記の如き串劣なる行爲を以て、我等に挑戦し來つたのであります。

彼の今回の真意は、我々の産業發展運動たるバルブの賣値を上げ、工賃の低下を防ぎ、生産を調節し以て産業の統制發展と従業員の生活安定を期せんとする運動を根本から覆さんとの陰謀にして彼の意圖は高級職工を犠牲し、賃銀を極度に低下し、低廉なる製品にて市場戦に臨み以て業界を擾亂せんとする怖むべき態度であるのであります。

茲に於て我等は前記の理由に基き、産業の敵、労働者の敵としてエビス電球坂倉幸利を斷乎膺懲すべく遺憾ながらストライキ決行の最後的手段に出たのであります。

何卒我等の真意を諒せられ、絶大なる後復を切望する次第であります。

- ▲全バルブ工場主はエビスの注文に應ずるな！
- ▲バルブ工はエビスの募集に應ずるな！

昭和九年一月二十七日

日本労働總同盟
エビス電球大森工場爭議團
 日本労働總同盟
関東電球硝子産業労働組合本部